[JPACP2022-010]「災害と防災に関する心理学」(安全工学シンポ 2022)

If you are unable to see this message, click the URL below. https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2022/06/JPACP2022-010.pdf

公益社団法人日本心理学会 認定心理士 各位

♦-----**♦**

日本心理学会オーガナイズドセッション

「災害と防災に関する心理学」のご案内(安全工学シンポジウム 2022) https://psych.or.jp/event/other_20220629/

・ 安全工学シンポジウム 2022 において,本学会の企画によるオーガナイズド セッション「災害と防災に関する心理学」を開催いたします。

このセッションは、本学会の災害研究支援委員会(旧・東日本大震災復興 支援特別委員会)の発足と常置化を記念して開催されます。

本年度の安全工学シンポジウムはオンライン開催で、参加は無料です。 ただし事前参加申込が必須となっております。ご関心のある方におかれ ましては、ぜひシンポジウムにお申し込みくださいますようご案内申し 上げます。

日本心理学会企画オーガナイズドセッション OS-4「災害と防災に関する心理学」

• 開催日時

2022 年 6 月 29 日(水)12:20-14:20 (ライブ配信) (安全工学シンポジウムの会期は,6月 29日(水),30(木),7月1日(金))

会場

オンライン開催(安全工学シンポジウム 2022 への参加登録が必須)

▪概要

本セッションでは、災害と防災に関する心理学について、発表者のいくつかの研究例を通じて展開し、災害の問題と防災についての議論を深めることを目的としている。

・企画

竹村 和久(早稲田大学/日本心理学会災害研究支援委員会)

• 登壇予定者

「共有された情報」が防災意図や防災行動にもたらす効果の検討 〇前田 楓(立教大学)

避難所における安心感確保と心理的ストレス軽減を考慮した夜間照明環境 の構築

〇吉澤 望, 大江 由起 (東京理科大学), 山口 秀樹 (国土技術政策総合研究所), 秋月 有紀 (富山大学)

災害時における助けてもらいたい, 助けたいという心理に関する個人差・ 地域差

〇高野 裕治 (人間環境大学)

消防職員の被災地ボランティア活動が被災地の復旧に及ぼす影響 〇秋本 陽子(東京消防庁)、松井 豊(筑波大学)

様々な職種の惨事ストレスの反応と対策の現状 〇松井 豊 (筑波大学)

<安全エ学シンポジウム 2022>

・主催:日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに

関する安全・安心・リスク検討分科会

・共催:日本心理学会を含む32学協会

- 会期: 2022 年 6 月 29 日(水), 30 (木), 7 月 1 日(金)

会場:オンライン開催

・参加方法: 事前 web 申し込み (参加無料) ・URL: https://www.anzen.org/index.html

※安全工学シンポジウムは、安全工学に関する各分野における問題点提起、優れた研究成果の講演と技術交流により、安全工学および関連分野の発展に寄与することを目的として開催されています。

♦-----**-**

■新型コロナウイルス (COVID-19) に関する特設ページ https://psych.or.jp/special/covid19/

■認定心理士の会 イベント

https://psych.or.jp/authorization/ninteinokaievent/

- ■「災害と防災に関する心理学」(安全工学シンポジウム 2022; 2022/6/29) https://psych.or.jp/event/other_20220629/
- ■メール配信バックナンバー

https://psych.or.jp/authorization/mailservice/

■認定心理士の会 ニューズレター

https://psych.or.jp/authorization/ninteinokai02/

配信先メールアドレスの変更や配信中止, 学会登録情報の変更(連絡先,所属機関,学歴等)は, メール (jpakaiin@psych.or.jp) でお知らせください。

コンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコン公益社団法人日本心理学会

https://psych.or.jp/contact/
